

2006年春季交渉 回答について

2006年の春季交渉は、電機産業関連市場におけるデフレ傾向の継続をはじめ、経営環境は引き続き厳しく、また、先行きについても懸念材料が多いことから、予断を許さない状況にある中でのもとなりました。

こうした中で今回の回答は、組合並びに従業員の状況への理解・協力を報いるとともに、創業100周年にあたる2010年に向けて更なる協力を得たいとの考えから、会社として今でき得る最大限の決断をしたものであります。

また、労働協約改訂については、次世代育成支援及び仕事と家庭の両立支援について、当社としてはこれまで積極的に推進してきており、今回もその基本スタンスに沿って検討した結果です。60歳以降の再雇用については、改正法の趣旨を十分に踏まえ、検討したものであります。

■回答内容

1. 賃金改訂交渉

回 答
賃金体系を維持した上で500円の水準改善を行う

2. 賞与交渉

回 答	要 求
1,450,150円	1,555,000円

<ご参考>

	回 答	要 求
月数	4.85ヵ月	5.2ヵ月

- ・ 平均基準内賃金 : 299,000円
- ・ 平均年齢 : 36.7才
- ・ 支給日(予定) : 夏 6月 9日、冬 12月 8日

3. 労働協約改訂(抜粋)

項 目	回 答
60歳以降の再雇用	労使協定の締結
次世代育成支援及び仕事と家庭の両立支援	行動計画実現等のための労使協議機関設置
	「配偶者の転勤」の再雇用制度適用事由への追加
	短時間勤務制度の勤務形態の拡大

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
